

飯豊神社本殿 (いいとよじんじゃほんでん)

所在地 宮城県加美郡加美町字麓山

指 定 加美町指定有形文化財 平成4年6月17日

概 要

飯豊神社は慶雲2年(705)将軍巨勢麿が勧請(神仏の分霊を他の場所に移し祀ること)したと伝えられています。延喜式神明帳に記載がある古社で、別称「石神」と言われています。その由来は元来境内にある大石を御神体として祀ったからと考えられます。

初め社殿はなく、御神体を祀った石堂が建てられ、その後に大野東人が天平9年(737)に出羽国への道路建設時に社殿を造営したと伝えられています。また、正安22年(1300)5月、朝日館城主内海左京太夫長重が社殿を再建立したと記録されています。

現存する本殿の建築年代は不明ですが、幣殿・拝殿は昭和46年に再建されています。また、明治5年(1872)4月に漆沢の山神社、小瀬の雷公天神社、神明社の三社を合祀しています。

